

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年1月19日 (2017.1.19)

【公開番号】特開2016-202258(P2016-202258A)

【公開日】平成28年12月8日 (2016.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-067

【出願番号】特願2015-83794(P2015-83794)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月26日 (2016.10.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の進行に基づいて判定を行う判定手段と、
前記判定手段による判定の結果に応じた表示が行われる表示手段と、
所定の演出空間で動作可能に設けられる複数の可動装飾部と、
前記複数の可動装飾部の少なくとも 1 つを動作させる駆動制御を実行可能な可動装飾制御手段と

を備え、

前記可動装飾制御手段は、

前記複数の可動装飾部のうち第 1 可動装飾部と第 2 可動装飾部とが第 1 の位置関係で配される第 1 駆動制御を行うことで、これら第 1 可動装飾部及び第 2 可動装飾部を少なくとも用いた第 1 装飾を出現させる第 1 装飾制御手段、及び

前記複数の可動装飾部のうち第 1 可動装飾部及び第 2 可動装飾部の少なくとも 1 つを変位させてそれらの各装飾部が前記第 1 の位置関係とは異なる第 2 の位置関係で配される第 2 駆動制御を行うことで、第 1 可動装飾部及び第 2 可動装飾部の少なくとも 1 つと他の装飾部とを用いた第 2 装飾を出現させる第 2 装飾制御手段

を有することを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

手段 1：遊技の進行に基づいて判定を行う判定手段と、
前記判定手段による判定の結果に応じた表示が行われる表示手段と、
所定の演出空間で動作可能に設けられる複数の可動装飾部と、
前記複数の可動装飾部の少なくとも 1 つを動作させる駆動制御を実行可能な可動装飾制御手段と

を備え、

前記可動装飾制御手段は、

前記複数の可動装飾部のうち第1可動装飾部と第2可動装飾部とが第1の位置関係で配される第1駆動制御を行うことで、これら第1可動装飾部及び第2可動装飾部を少なくとも用いた第1装飾を出現させる第1装飾制御手段、及び

前記複数の可動装飾部のうち第1可動装飾部及び第2可動装飾部の少なくとも1つを変位させてそれらの各装飾部が前記第1の位置関係とは異なる第2の位置関係で配される第2駆動制御を行うことで、第1可動装飾部及び第2可動装飾部の少なくとも1つと他の装飾部とを用いた第2装飾を出現させる第2装飾制御手段

を有することを特徴とする遊技機。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記構成では、複数の可動装飾部のうち第1可動装飾部（明細書中では、左上可動装飾部3710a及び左下可動装飾部3710b）と第2可動装飾部（明細書中では、右上可動装飾部3710c及び右下可動装飾部3710d）とが第1の位置関係で配される第1駆動制御（図120に示される状態を、図123に示される状態にする駆動制御）を行うと、これら第1可動装飾部及び第2可動装飾部を少なくとも用いた第1装飾（明細書中では、図123に示される「特定キャラクタが所属するチームの象徴であるデザイン」）が出現される。また、上記構成では、複数の可動装飾部のうち第1可動装飾部及び第2可動装飾部の少なくとも1つを変位させてそれらの各装飾部が前記第1の位置関係とは異なる第2の位置関係で配される第2駆動制御（図123に示される状態を、図129に示される状態にする駆動制御）を行うと、第1可動装飾部及び第2可動装飾部の少なくとも1つと他の装飾部（明細書中では、顔駆動部3210）とを用いた第2装飾（明細書中では、図129に示される「ロボット」）が出現される。すなわちこの場合、複数の可動装飾体による位置関係いかんで様々な装飾形が生み出されるようになることから、複数の可動装飾体による変幻自在であるかのような可動演出を通じて遊技興趣の低下が抑制されうようになる。